

令和5年6月30日

保護者 様

古瀬間小学校長
安田 祐子

新型コロナウイルス感染症と夏風邪等について（お知らせ）

日ごろから皆様におかれましては、学校の感染症対策にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、6月中旬頃より、豊田市内の新型コロナウイルス感染症とヘルパンギーナ（夏風邪）の患者数が増加しております。

ヘルパンギーナは、5歳以下のお子さんに多く、春から夏にかけて発生し、7月に流行のピークを迎える夏風邪の代表的な病気です。その他、夏に多い病気として、手足口病・咽頭結膜熱等があります。

コロナ禍で集団免疫を獲得する機会が少なく、免疫力の低下が懸念されており、思わぬ病気に感染する可能性があります。**お子さんに発熱やのどの痛み、せきなど普段と違う症状があった場合には、無理に登校せず、医療機関に受診することをご検討ください。**

学校では感染拡大を防止するため、下記の感染対策を行っています。

今後も、お子様の安心・安全な教育環境の確保のため、引き続きご家庭のご理解とご協力をお願いいたします。

記

1. ヘルパンギーナとは

【症状】

感染してから2～4日後に、高熱、咽頭痛や咽頭発赤があり、口の中に水疱や発赤が現れます。高熱による倦怠感や口腔内の痛みなどから、食事や水分を十分にとれず、脱水になることもあります。まれに髄膜炎、急性心筋炎などの合併症等が出ることもあります。

【予防策】

一般的な感染対策は、以下のとおりです。

- ① 石けんを使って、手洗いをしっかりと行う
- ② 排泄物を適切に処理する
- ③ 症状がある人との密接な接触を避け、タオル等の共用はしない
- ④ 症状が現れたら、早めに医療機関を受診する

2. 学校における感染対策について

- ・咳やくしゃみをする際の「咳エチケット」実施の指導
- ・適切な換気の実施
- ・接触感染を避けるための手洗い等の衛生指導手洗いの実施

※学校内で新型コロナウイルス感染症等の増加傾向がみられた場合、一時的にマスクの着用について配慮をお願いすることがあります。その場合でも、熱中症リスクが高いときには、お子様の様子を観察し、呼吸が苦しい等体調の異変を確認したときには、必要に応じてマスクを外すよう対応します。ご家庭でも、「息苦しいとき」・「暑いとき」等は、マスクを外してもよいことをお伝えください。

担当 教頭 後藤 朋美
電話 0565-80-0593